

# 「高低差」地形ウォーク第14回

## 上町台地の最先端

# 大阪城

2024年1月11日(木)

<参加メンバー> 8人(男性5人、女性3人)

<天候> 晴れ

### <コースタイム>

JR 玉造駅 10:00～大坂城黒門跡～10:40 三光神社～11:25 真田丸跡(顕彰碑)～心眼寺～11:15 難波宮跡(昼食)11:40～大阪歴史博物館～大阪城南外堀～13:30 玉造門～極楽橋～山里丸～14:15 天守閣北の三角点(おやつ)14:35～豊臣大坂城石垣遺構発掘現場～庭園の池～京橋口～15:15 トーソウター豊臣大坂城石垣遺構～15:40 天満八軒屋浜(渡辺津)解散。(あとは中之島公園を経て梅田へ)  
行動時間: 約6H 歩行距離: 10Km

### <概要>

前回までは大阪高低差学会代表の新之介氏著の“**阪神・淡路島**「高低差」地形散歩”という本を参考に歩いてきたが、今回から同じ著者の“**大阪**「高低差」地形散歩”を参考に身近な大阪の街を掘り下げて探訪する。まずは上町台地の最先端に位置する大阪城から。かつて上町台地は西は大阪湾の海が迫り、東は古大阪湖が広がり、まるで海に突き出した半島で土地は木々に覆われ水を蓄え多くの谷が発達した地形だったようだ。古代に難波宮が置かれ、のちに石山本願寺、豊臣大坂城そしてその上に徳川大坂城が築かれた。今回はそれらの地形と歴史を探りながら歩いた。多くの新しい発見が知的好奇心を刺激してくれた一日でした。(Gi)



玉造駅構内でコース説明



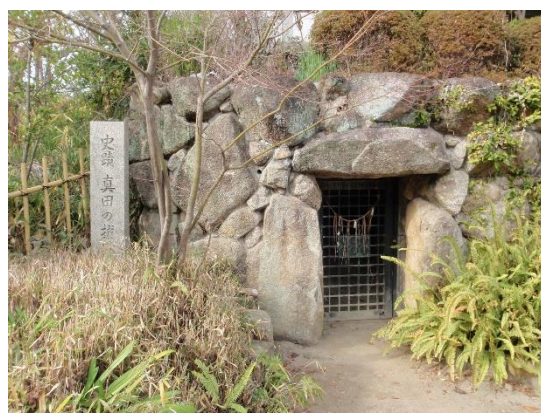
豊臣大坂城黒門跡、いまは何も残っていない



三光神社



真田信繁(正幸)像



真田の抜け穴、奥はどこまでか不明



穴を覗き込む人と幸村像を見上げる人



私は誰でしょう?



心眼寺坂を下る。前方が大坂城方面。真田丸は左手の明星学園グラウンドにあった



真田丸顕彰碑





「大坂冬の陣図屏風」(部分)【東京国立博物館蔵】

顕彰碑に描かれている冬の陣の様子



碑は明星学園のグランドそばにある



三姉妹？



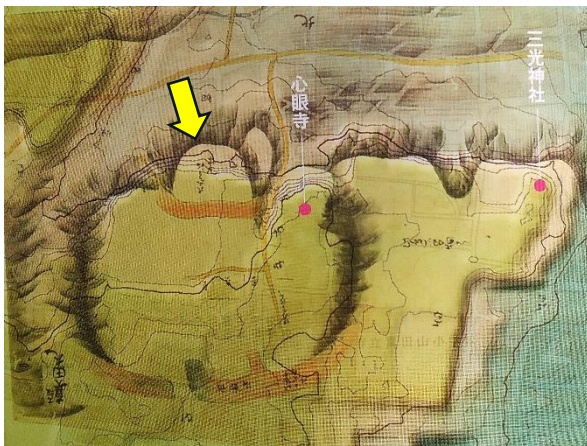
心眼寺、下の古絵図に載っている



心眼寺入口



心眼寺境内にある真田幸村の墓



古絵図に描かれている真田丸(矢印)



難波宮大極殿の基壇(奥)と回廊(復元)



今は芝生公園になっている



次は大阪歴史博物館(矢印)へ



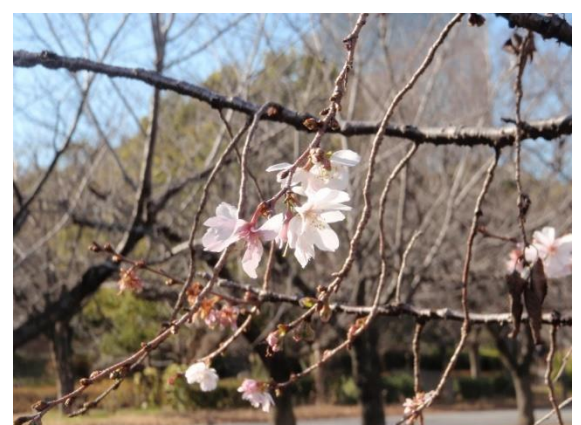
難波宮時代の高床式倉庫(復元)



大坂城配置図



玉造門



早咲きの桜が





内堀に沿って、右手は梅林



極楽橋を渡ると山里丸



豊臣秀頼と淀殿 自刃の地（山里丸）



天守閣北側に三角点はある



鉄板の蓋で覆われている



鉄板には二等三角点の表示



蓋をあけると



標石がある。ここは標高 32.9m



三角点横の石のテーブルで



おやつはスイートポテト



思いがけない場所でよい休憩ができた



豊臣大坂城の発掘現場、今年公開予定



庭園の池に逆さ天守閣



石垣の巨石と二人の微女



豊臣大坂城三の丸石垣を移築復元(トーンセンタ-北)。当時の高さは 5m 以上と推定。

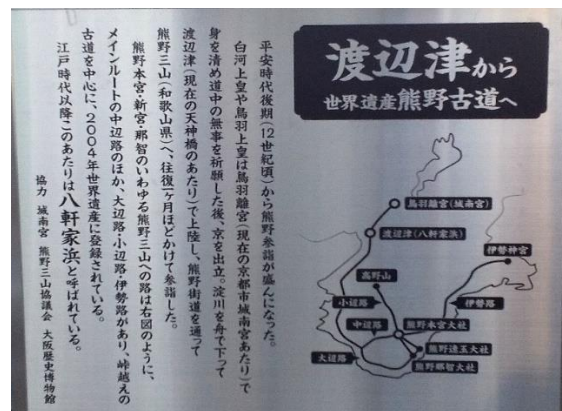




天満駅



八軒屋浜(渡辺津)。京伏見との船の発着場。



ここは熊野古道の出发点

新之介氏紹介: 2013年に大阪高低差学会を設立。地形と歴史に着目したフィールドワークを続けている。NHK『ブラタモリ』の「大阪」、「大坂城・真田丸スペシャル」の案内人。著作は『凸凹を楽しむ大阪「高低差」地形散歩』、『凸凹を楽しむ大阪「高低差」地形散歩 広域編』、『凸凹を楽しむ大阪「高低差」地形散歩 広域編』、『ぶらり 大阪「高低差」地形さんぽ』など。

おわり

